

夢の街マイアミ 不動産投資事情

コアラ社長の

ゴルフ場の芝を引っ剥がし、再設計をして再オープンするというド派手な再開発である。その名も「トランプ・ナショナル・ドラル」。これを受けてドラル中心部の開発が活性化している。トランプ・ナショナル・ドラル徒歩圏内にショッピングモールと住宅の複合開発が予定されている。ショッピングモールにはすでに高級食材を扱うスーパーやレストランの出店が決まっている。開発者はマイアミでも有名なデベロップ・S社。S社は時代に即した消費者志向の住宅を開発することに定評がある会社である。

不動産コンサルタントの林弘明先生率いる不動産投資団がブリッケルの次に投資対象として視察したのは、マイアミ国際空港近くのドラルエリアである。筆者がこれまで数々の買取転売を行ってきた場所だ。

公立学校の教育水準が高く、そのためにこの地に住まいを求めて引っ越してくる人もいるほどだ。教育水準と不動産価格には明らかに相関関係が存在する。南米の玄関口ともいえるマイアミ国際空港に程近いエリアであるため、国際的な有名企業が立ち並び駐在員の世帯がマーケットさえ形成している。

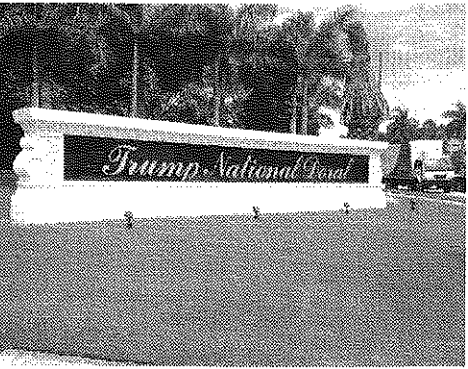
昨年、このエリアにおいてドラルの中心部にある大型のゴルフ場が買収された。買収したのは、世界の不動産王と呼ばれる「ドナルド・トランプ」その人である。とつとつトランプ氏がマイアミ、

デベロッパーの社長がトップセールス

2015年に竣工するこの開発物件も、ドラルにおいては非常に価値がある物件となることは間違いない。ここでも素早い意思決定をされる投資家は購入を決定。ある程度まとまった区画数を購入することである程度のオプシヨンの特典を得ることができた。

今回もさまざまな交渉をする中で、デベロッパーのM社長が自らトップセールスとして登場した。マイアミにおいてこの業界では知らない人はいないほどの有名人であるがとてもフレンドリーな対応で、その日の晩、投資団は有名レストランにてディナーにも招待された。

S社とは今後も良いお付き合いができるいいきっかけとなる取引であった。M社長が保有するプライベートジェットで日本凱旋帰国も近い将来には実現しそつである。



トランプ・ナショナル・ドラル

聞マイアミへラルドでは、フロリダ州全土でもっとも不動産市況が活発で値上がりをしているエリアとしてドラルが紹介された。投資ターゲットとしては間違いないエリアであったことが証明された。11月17日から、12月6日からもマイアミ不動産投資ツアーが予定されている。マイアミ不動産投資の活況はまだまだ続く様相である。(小原隆浩)

隔週掲載